

## 千葉県オレンジ連携シートの見直しについて

### 1 運用までの経緯

認知症支援に携わる様々な専門職が、支援に必要な情報を共有しながら、必要に応じて助言依頼・意見交換なども行うことができ、県内全域で利用可能なツールとして、千葉県オレンジ連携シートを作成。

平成24、25年にかけてモデル事業の実施、検証を行い、平成26年4月から運用している。

### 2 見直しの経緯

令和5年度第4回千葉県認知症対策推進協議会にて、オレンジ連携シートの利用状況調査結果を報告したところ、委員から、利用件数が増えていないことや、本シートの作成がケアマネの負担になることなどの懸念が示され、シートの普及啓発や現場の負担軽減に向けた本シートの見直しを求める意見があった。

### 3 見直しの方向性について

#### 対応（案）

主な使用が入退院時に限られる「千葉県地域生活連携シート」との差別化を図りつつ、利用を促すべく、様式を簡易化する。案は資料1-2参照

#### 【主な修正箇所】

表面、裏面の「認知症の症状」、「伝達・相談・依頼事項・自由記載欄」などの一部項目を残し、表面1枚に統合

### 4 普及啓発の強化について

- (1) 医師会、看護協会等の関係団体に対し、文書による広報周知を定期的の実施するとともに、普及啓発用のチラシをホームページに掲載する。

資料1-4

- (2) 医師、看護師等の専門職を対象とした研修、セミナーにおいて、オレンジ連携シートの概要を説明の上、利用を呼びかける。

候補となる研修、セミナーについては、資料1-5